

PRO6

LIVE AUDIO SYSTEM

digital, with Heritage





PRO6ライブ・オーディオ・システムは、マイダスから発表されたデジタル・ネットワーク・オーディオ・システムの第2弾の製品です。XL8で開発された業界をリードするテクノロジーをPRO6で継承しているので、最高峰と認められたXL8と全く同様の魅力的なオーディオパフォーマンスをコンパクトなサイズにまとめたコンソールとして提供致します。

PRO6の標準的なシステムの設置サイズはVerona(32ch仕様)に相当するサイズのコントロールセンタに、7UのDSPユニットと7UのI/Oユニットだけです。小さいサイズながらも、インプット・プロセッシング・チャンネルは同時に最大80インプット、モニタモードで最大32(+3)の個別ミックスで全ての出力にEQを装備し、数多くのダイナミックス・プロセッシング・オプションが選択可能な、優れたパフォーマンスを誇るモデルです。追加のI/Oハードウェアを加えることによって、ネットワークは最大264インプット、264アウトプットまで拡張できます。シーン毎の場面転換には高性能なスナップショット・オートメーションを使用して設定やルーティングが変更可能です。



PRO6のFX(エフェクタ)とダイナミクス・アルゴリズムのクオリティは群を抜き、FXプロセスは使い勝手が良いリナックスOSをベースとしています。また、それをオートマチック・ディレイ・マネージメント・システムにも採用し、全ての設定に対してミキシングされたオーディオ信号の位相は完全に一致します。最大8ステレオFX(エフェクタ)の組み合わせをFXラックに搭載可能で、マルチモード・リバース、タップ・テンポ機能付きステレオ・ディレイ、ステレオ・シリアル/パラレル・フェイザ、ステレオ・フランジヤ、ディレイ機能付きステレオ・ピッチ・シフタ、ステレオ・マルチバンド・コンプレッサ、8チャンネルのマルチファンクション・ダイナミクスなどのプロセスから選択が可能です。G-EQにも十分なプロセスがあり、最大36台の1/3オクターブKlarkTeknik DN370グラフィックEQが設定可能で、モニター・アプリケーションで使用する場合、ソロ・トラッキング・システムを経由してオプションのKlark Teknik DN9331 ラピッド・ムービング・フェーダ・リモートを使用することで全てを柔軟にコントロールすることが可能となります。これらに加えて、インプットに4タイプのコンプレッサ、アウトプットに5タイプのコンプレッサが利用可能です。シーン毎の設定リコールに対して、FX(エフェクタ)内部ラック、各入出力のコンプレッサ・タイプなど、設定を完全に変えることができるので、その可能性は無限大となります。

現場で活躍するライブ・サウンド・エンジニア達はミキシング・コンソールのナビゲーションを行なうときに色による識別方法を習慣として来ました。コンソール上の様々に着色したフェーダ・ノブのカラーや名前を書いた色違いテープを張って使用することで、より迅速に、より直感的なナビゲーションが実現できます。マイダスの開発担当者は、この確立されたチャンネル識別の原理に着目し、PRO6のコントロールセンタは完全にこの方法を基礎に設計いたしました。この手法を最大限に活用した例としてVCAやPOPグループを分類する方法では、マイダス XL8ライブ・パフォーマンス・システムで初めて採用され、そのままPRO6に採用されています。また、コンパクトサイズのPRO6ならではの特徵として、インプット・フェーダの数の多さに悩まされる心配は全くありません。多くのフェーダを配列したコンソールは、時よりミキシングオペレーターの進行の妨げになったり、ライブ・ミックスを行う時に度々遭遇する急速な状況変化に合わせた迅速な対応を困難にさせたりします。PRO6のコントロールセンターはミキシングオペレーターの能力を最大限に引き出すため、最適なサイズに設計されています。全てのコントロールがすぐ手の届く場所にあり、「エンジニアをコンソールへ導く」というコンセプトが完全に実現されました。

今や定評となったマイダス XL8の卓越したオーディオ品質は、業界で最良のマイクプリアンプに起因するものでも、コンバータに起因するものでも、特注プロセッシング・アルゴリズムに起因するものでもありません。マイダス XL8は包括的な自動レーテンシ管理システムがある世界で唯一のライブ・ミキシングコンソールです。そして、それは、すべての内部のルーティングとプロセッシング遅れを管理することに加えて、外部アナログインサートの補償を含みます。これは、すべてのオーディオ信号サンプルがミキシングする前に同期することを意味します。つまり、すべての出力で完全に位相の一貫性をもたらします。マイダス PRO6は現在ではこの独自の機能を持ち合わせた世界2番目のライブ・オーディオ・コンソールです。



マイダス PRO6 では優れたサウンドと、驚くほどの操作性の心地よさも体感することができます。コンソール上の全ての変換コントロールはエンコーダではなく、本物のPOT(アナログボリュームのような)です。A-Dコンバータ、マイダスの特有の補間法で配慮されたアルゴリズムを通して FPGA エンジンにアクセスします。つまり、全てのオーディオ、全ての操作入力は直線的なアナログスタイルであり、非常に滑らかな「心地よい操作性」でミキシング・オペレーションをサポートします。

マイダスのマイクロホン・プリアンプは、製品を判断する基準の一つです。異なるコンポーネントが組み合わされ、マイダスのヒット商品となったXL3やXL4やHeritageなどのアナログコンソールの設計に基づいて組立てられていますが、PRO6は現段階でこれまでに最良のサウンドを実現しています。ニュートラルでクリアなサウンドの再現や、マイダスサウンドとして知られた暖かなサウンドを表現したい場合はもちろん、PRO6のデュアル(アナログとデジタル)ゲインステージによって、お好みでマイクアンプを特徴づけることが可能です。

全ての製品で高い信頼性を実現することはマイダスの重要な責務です。全てのPRO6ハードウェアエレメントはリダンダント・パワーサプライを標準仕様しています。FPGAプロセッシング・エンジンはモジュール構造であり、エンジンモジュールに突然の障害が発生した場合でも予備モジュールがその機能を自動的に代替します(n+1モデル)。



デジタル・オーディオの信号伝送には国際標準AES50を使用しており、イーサネット・ベース・システムと比べ、ロスデータパケットと同期の不一致の問題に対して優れたプロテクションを発揮するフィード・フォワード・エラー修正機能を有しています。PRO6ハードウェアとの全てのリンクは通常ケーブル(CAT-5e)と光ケーブル(接続した場合)の両方にリダンダントケーブルをサポートすることが出来ます。

コントロールセンタは、デュアル・リダンダントのリナックス・マスター・コントロール・コンピュータ(MC)を内蔵し、PRO6リナックス・ソフトウェアの全てのバージョンを運用しています。MCは単体でも全体のシステムに十分な稼働能力があり、切り替え可能な2台のMCのどちらかを使用してモオペレーションやオーディオに何の影響も無く使用することが出来ます。

重量と寸法:
コントロールセンタ 1365mm x924mm
重量 95kg
DL371-7U、22Kg
DL351-7U、27Kg

パッケージ:
2重化された100m Cat-5eケーブル付属
ワークサーフェスはツアークレードのフライトケースで出荷されます。
DL371とDL351は16Uのツアークレードのフライトケースで出荷されます。

オプション:
Klark Teknik DN9331 RAPIDEグラフィック・コントローラ
Klark Teknik DN9696 高解像度オーディオレコーダ
Midas DL451オーディオ・システム・モジュールVO
Midas DL431オーディオ・システム・インプット・スプリッタ

注:全ての重量表記はフライトケースを含みません。

MIDAS
CONSOLES JAPAN

Midas Consoles Japan Division ダイヤルライン: 03-6661-3801
URL: <http://www.midasconsolesjapan.com> Email: info@midasconsolesjapan.com

本社 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826
大阪営業所 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164
URL: <http://www.bestecaudio.com> Email: info@bestecaudio.com

ベストエックオーディオ株式会社

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります